

「弘前市立小・中学校の教育改革に関する基本方針」に係る  
第3回地域意見交換会会議録

中学校区:新和中学校区

月 日:平成27年10月21日(水)

時 間:18:30~19:50

場 所:新和中学校 体育館

参加人数:22名

<記録>

番号	質問等の要点	回答内容
1	弘前式 I C T 3 点セットとあるが、他の自治体ではどのような機器を導入しているのか。	多くの自治体は、電子黒板機能付きプロジェクター及び実物投影機を導入しています。タブレット端末を導入するのは、弘前式の特徴であります。
2	義務教育9年間のうちに転校する児童生徒もいると思うが、小中一貫教育システムの実施に伴う影響はないのか。	小中一貫教育システムは、9年間を通した目標を立てて子どもたちを育てようというものです。学習内容については、学習指導要領により決められていますので、転校による支障はないものと考えています。
3	近年の小学校の様子は、活気が無いと感じている。新和地区での統合もやむを得ないのではないのか。	【意見等】
4	今後、中学校の再編もあるのであれば、常盤野地区のように小・中学校を同じ建物とする「新和小中学校」があってもいいのではないのか。	【意見等】
5	新和地区は、鶴田や板柳と距離が近いこともある。行政の枠を超えた統合なども考えられると思う。	【意見等】
6	児童・生徒数が減少している中で、弘前大学教育学部附属小学校及び中学校では多くの児童生徒を募集していて不公平感がある。	【意見等】
7	いつまでに統合するという教育委員会の考えはあるのか。	現時点では、いつまで統合するという考えは持ち合わせていません。統合案は、短期の取組としていますが、地域から十分に意見を聞き、理解を得たうえで実施計画を作成することとしています。今回示した検討課題と対応案は、あくまで皆さんと一緒に検討していくためのたたき台であり、決定した方針ではありません。地域との合意形成のもと、進めていきたいと考えています。
8	今回のような案件は重要であると思う。意見交換会の開催回数が少ない。保護者とも議論し、理解を深めたうえで進めてほしい。	次回の意見交換会は、小学校区ごとになるのか、再度中学校区で行うかは、今後検討していきます。本中学校区については統合案を示していることから、意見交換は重ねていきたいと考えています。

番号	質問等の要点	回答内容
9	農業者が多い地区においてこの時期の開催は出席しにくい。農閑期に開催するよう配慮してほしい。	【意見等】
10	地域意見交換会の開始の時間は、現役世代やＯＢはもちろんだが、これから入学を控える世代も集まりやすい時間帯にも配慮してほしい。	【意見等】
11	教員の確保については、どのようなになっているのか。	国や県の基準より教員の配置数が決められています。現在、当市では学校の規模や特別支援教育に対応するために県や市の加配（教員定数に上乗せして配置）により１３４名増員しています。現状では、中学校での教員配置は、５教科の教員は確保しています。